

令和5年(2023年)2月25日(土)近江八幡観光ボランティアガイド協会～八幡商人邸と節句人形巡り

【コース】

JR琵琶湖線・近江八幡駅(受付・スタート)～ブーメラン通り～新町通り～市営小幡観光駐車場～

旧伴家住宅(八幡教育会館)～西川利右衛門邸(旧西川家住宅)～八幡堀～日牟禮八幡宮～

白雲館観光案内所(ゴール・解散)⇒これから自由行動⇒かわらミュージアム休憩所(昼食)～西光寺～

JR琵琶湖線・近江八幡駅(約8km)

① 商人コース

近江商人の一つとして、江戸時代初期より活躍した八幡商人の本店が並ぶ町並みが良く残っている重要伝統的建造物群保存地区の「新町通り」を中心に見学して頂きます。

朝鮮人街道・・・・江戸時代朝鮮から訪日した文化使節団＝朝鮮通信使は、近江の地を10往復していますが、いずれも東海道、中山道ではなく、朝鮮人街道と呼ぶ、近江八幡、安土、彦根を經由するローカルな道を利用しています。



旧伴家住宅・・・・寛永年間に江戸日本橋に出店し、麻布、畳表、蚊帳を商いした豪商でしたが、明治維新の激動には逆らえず、明治20年に廃業しています。現在資料館として開館している建物は文政の大地震の後に七代目庄右衛門が13年かけて新築された3階建です。廃業後小学校、女学校、幼稚園、図書館を経て平成16年に資料館となりました。

郷土資料館（三館）・・・・「西村太郎右衛門宅跡（安南屋）」は、かつての蒲生郡警察署で、ヴォーリズ建築事務所が改築しています。「森五郎兵衛控え宅」は、道路の向い側にある本宅に対して来客専用の住宅で、貫見せの真壁造り、切妻平入、つし二階といった近江八幡の町屋の特徴を良く表しています。「西川利右衛門邸（大文字屋）」は宝永3年(1706)に建設され、摺り上げ戸と跳ね上げ戸で構成されています。裏庭には、更に時代を遡った三階建ての土蔵があり、共に国の重要文化財となっています。

新町浜/八幡堀・・・・八幡堀は城を守る為の堀というより、当初より商業発展の為の水運の働きが大きく、八幡商人発展の重要な礎になったと考えられています。浜とは船の貨物の積み下ろしをする場所を示し、上下に同じような港が七か所あったようです。

日牟礼八幡宮・・・・社史によれば、131年成務天皇が大島大神を祀ったのが起源とされています。991年一条天皇が宇佐八幡を勧請して日牟礼八幡宮となっています。社宝には木造男神座像二軀、木造女神座像二軀と江戸時代初期に鎖国により帰国がままならなかった西村太郎右衛門が奉納した絵馬＝安南渡海船額があり、いずれも国の重文です。日牟礼八幡宮の祭礼では、3月に行われる左義長祭り、4月の八幡祭り共に国の選択無形民俗文化財となっています。

かわらミュージアム・・・・かつて八幡堀沿いには、八幡瓦と呼ばれた瓦の制作工房が15軒（職人総数は凡そ160名）立ち並んでいました。この瓦工房の跡地に、伝統の瓦生産技術を保存・公開し、瓦製作の過程やその工程道具を展示・解説し、製作の喜びをも体験できるミュージアムが平成7年に設立されました

②秀次コース

羽柴秀次は豊臣秀吉の姉の子です。天正13年(1585)近江湖東地域に43万石を与えられ、八幡山城主となります。楽市楽座の掟書を出し城下町の振興を図り、現在に至る近江八幡市の基礎を築きました。秀吉の養子となり関白職を継ぎましたが、秀吉に実子=秀頼が誕生すると、関係はすっかり悪化して、築城10年後には、高野山で切腹させられています。

新町浜/八幡堀・・・秀次公は湖上交通に着眼し、八幡堀の両端を琵琶湖につなげ運河としました。更に掟書の中で、湖上を往復する荷船は、八幡堀を通らねばならず、新町浜のような、上下に7つあった港で荷の積み下ろしをせよと定めたのです。

八幡公園(秀次像)・・・若くして悲運の最期を遂げた秀次ですが、近江八幡開町の祖として市民に慕われ、彼の功績を偲んで、八幡公園には秀次の銅像が建てられています。



秀次館跡・・・八幡山城は、山頂に本丸、その下に二の丸、北の丸、出丸からなる城郭を構え、南側の山麓には城主秀次の居館や重臣達の邸宅があったとされ、中世の山城の形を示す最後の城として、歴史的価値が大変高いものです。八幡堀から一直線に伸びる大手道の両側に家臣団の屋敷をひな壇状に配し、最奥部に秀次館がありました。ここからは多数の金箔瓦が出土し、秀次の馬印である沢瀉(おもだか)を図案化した金箔瓦も出土しています。

ロープウエー公園駅・・・麓の駅から頂上駅まで高低差が157mあり、4分で到着します。

山頂/西ノ丸/北の丸・・・山頂は八幡山城の本丸跡で、昭和37年に、京都村雲から移築された村雲御所瑞龍寺という日蓮宗唯一の門跡寺院があります。秀次の実母となる智の方が秀次の菩提を弔うために出家得度され、名を日秀と改め開基したお寺です。八幡山城は全て廃棄され石垣しか残っていませんが、野面積み(のづらづみ)と安土城よりやや進歩している算木積みは一見の価値があります。西ノ丸跡からは、三上山、水茎岡山城跡、琵琶湖の先に比叡山、比良山の絶景が望めます。北の丸からは伊吹山、安土城、西の湖が望め、国土地理院の三角点があります。

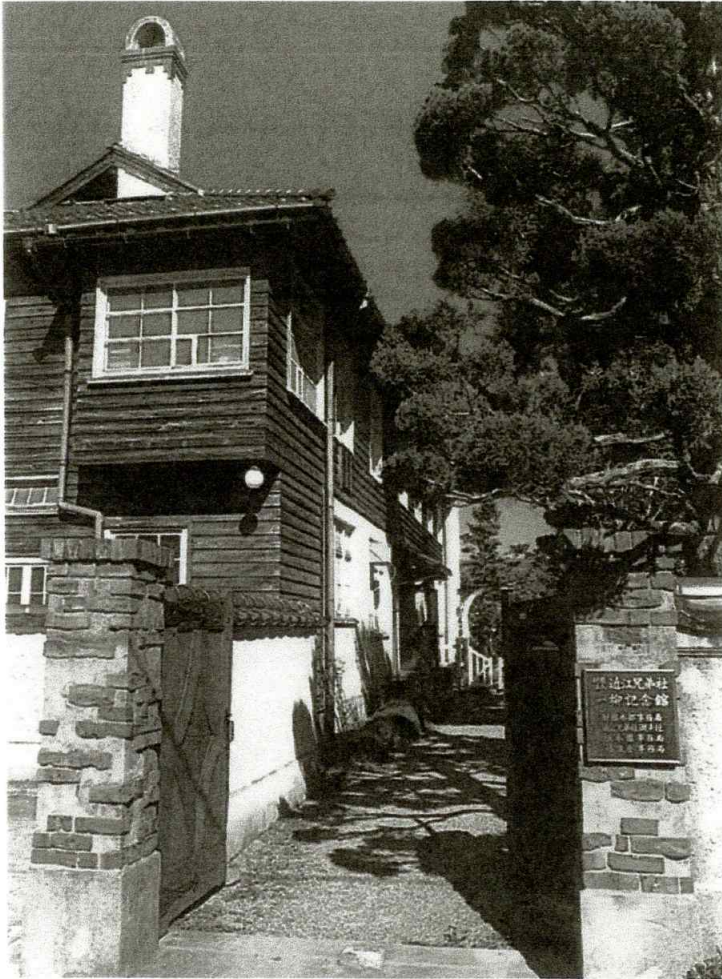
瑞龍寺・・・外観から門跡寺院らしく、向拝が唐破風で、寺務所の屋根が起り屋根(むくりやね)となっており、寺院内部の建具などにも門跡寺院の特徴が見られます。

二の丸跡/ロープウエー山頂駅・・・ここからは、旧八幡町の町並みが一望できます。

③ヴォーリスコース

明治38年2月2日 寒風吹き抜く八幡駅に一人の米国人青年が降り立ちました。

その名はウィリアム・メレル・ヴォーリス 24歳。彼は滋賀県立商業学校(現在の県立八幡商業高等学校)の英語の先生として来日しました。彼はYMCAから派遣された熱心なキリスト教の伝道家でもあり、それが原因で解職されることとなります。すると米国や日本国内各地からの支援の手が差し伸べられ、彼はその後も近江八幡に踏みとどまり、キリスト教の伝道活動を続けながら、アメリカの建築を日本に紹介し、日本全国に約1600に及ぶヴォーリス建築の設計を手がけました。



ハイド氏とメンターム……ヴォーリスの強力な支援者として、アメリカの家庭の常備薬メンソレータムの発明者ハイド氏とハイド夫人がいます。ハイド氏からは、メンソレータムの日本での製造販売権を与えられ、近江兄弟社の財源となり、ハイド夫人からの寄付金で教育会館と幼稚園舎が建てられ、平成12年(2000)には、共に国の有形文化財に登録されています。幼稚園舎は、ハイド記念館と恩人の名前が銘記されることになりました。

近江兄弟社本社工場前には、ヴォーリス像が立てられ、本社工場入り口には、メンターム資料館が観光客に公開されています。(取扱い商品名は、メンソレータムからメンタームに変更されています。)

ヴォーリス建築……近江八幡市内のヴォーリス建築は25棟残っています。その中の一部を紹介します。ハイド記念館(1931年築)、市立資料館(1953年改築)、旧八幡郵便局(1921年築)、ヴォーリス記念館(1931年築)、アンドリュース記念館(1907年築、ヴォーリス建築第1号)、八幡協会牧師館=旧近江兄弟社地塩寮(昭和初期築)

今回の見学コースには含まれないものでは、池田町洋風住宅街にある吉田邸(1913年築)、ウオーターハウス記念館(1913年築)、ダブルハウス(1921年築)、出町にある県立八幡商業高等学校(1940年築)、クラブハリエ日牟礼館=旧忠田邸(1936年築)などがあります。

④武佐宿コース

武佐宿は南北朝時代より東山道の駅家として栄え、江戸時代には五街道の一つ中山道の宿場として発展しました。宿場は現在の武佐駅から牟佐(むさ)神社辺りまでの範囲で、天保十四年(1843)の中山道宿村大概帳によると皇族や大名が宿泊する本陣をはじめ、脇本陣、旅籠(はたご)23軒が軒を連ねていました。



・伊庭貞剛生家跡・・・

佐々木一族の伊庭氏の末裔で、住友財閥の第2代総理事となった伊庭貞剛の生家があった場所です。伊庭貞剛は、日本で初めて環境問題に取り組んだ実業家でした。北側には西宿城跡があり、伊庭氏一族の居城だったと考えられています。

・高札場跡・・・

庶民に法令を知らせるため、その条目(法度や掟)をヒノキ、ケヤキの厚い板に墨で書き、宿場の出入り口など人目につきやすい場所に掛けられました。武佐宿では、江戸時代の絵図によると二か所に掲げられていたようです。この高札は現在も武佐小学校、牟佐神社、広済寺、浄宗院と武佐町坪田竹次家に残されています。

・旅籠屋(はたごや)・・・

蒲生郡志によれば、武佐宿場には二十三軒の旅籠があったとされますが、明治十年の大日本道中記では、かなり大きな旅籠と思われる三軒が記載され、最後に残ったのは中村屋ただ一軒だったのですが、それも2010年に火災で焼失しています。

・本陣・・・

皇族、公家、大名、幕府の役人等が休憩、宿泊した場所で、武佐宿では下川七左衛門家がこれにあたり、文久元年十月皇女和宮が第十四代將軍徳川家茂に降嫁のため、武佐宿通行の折本陣で休息されています。参勤交代の大名も宿泊しています。

・商家・大橋家・・・

武佐宿で、400年以上といわれる最も古い建物です。米、油を商う大橋金左衛門家で、本陣の下川七左衛門と共に宿場の取締役人でもありました。切妻、棧瓦葺、平入の商家で、市の登録有形文化財です。また庭園も大変古く、滋賀県名園の一つに挙げられています。

・旧八幡警察武佐分署・・・

明治十九年築、木造二階建て西洋建築、市の登録有形文化財

・広済寺・・・

長光寺と共に武作寺と呼ばれ、聖徳太子が武川綱に命じて建立したもの。天台宗から後に浄土真宗に改宗しています。後光厳天皇の滞在や明治天皇の行在所とされ、伊達政宗手植えの紅梅があります。

・牟佐神社・・・

祭神は事代主命。境内には名木モチノキがあります。

近江八幡市内散策マップ

- バス停 トイレ P 駐車場 銀行 寺 神社
 - 郵便局 コンビニエンスストア 警察署・交番
- 近江八幡おすすめウォーキングコース約3km



▲八幡山(271m)
八幡山城跡 続日本100名城

↑長命寺・休暇村近江八幡
湖周道路


1 新町通り
(Shinmachi Street)
(近江商人の町並み)(Omi Merchants' Town)

重要文化財でもある近江商人屋敷や市立資料館などが建ち並ぶ新町通りでは、近江商人の質素儉約・質実剛健な暮らしぶりを肌で感じる事ができます。また、撮影スポットの1つです。



2 日牟禮八幡宮
(Himurehachimangu Shrine)
TEL 0748-32-3151

千年以上の歴史を誇るこの神社は、近江商人の守護神として、人々の愛い信仰と加護を集めてきました。多くの重要文化財が納められています。左義長まつりや八幡まつりでも有名です。



3 八幡堀
(Hachiman Moat)

四季折々に様子を変える八幡堀では、桜並木や花しょうぶが美しく、写真や絵画の愛好家などが数多く訪れます。また、映画やテレビ時代劇のロケ地としても活用され、近江八幡を代表する観光地の1つです。



4 ヴォーリス記念館(要予約)
入館料・400円(高校生以下無料)
(William Merrel Vorries Library)
休:月・祝・その他不定休 TEL 0748-32-2456

晩年のヴォーリス夫婦が住んだ場所で、今日では記念館となっています。「近江八幡は世界の中心」との思いで、近江八幡のまちを深く愛したヴォーリスの軌跡と精神は、今もこの地で生き続けています。



発行元
近江八幡観光物産協会

お問合せ先
近江八幡駅北口観光案内所 TEL:0748-33-6061
(近江八幡観光ボランティアガイド協会受付所)
<https://www.omi8guide.com>

安土駅観光案内所 TEL:0748-46-4234
(安土町観光ボランティアガイド協会受付所)